

14-2
20

新潟縣水產試驗場事業概要

(大正十四年度後編)

始



凡例

- 一、此ノ報告書ハ簡易ニ要領ヲ示スヲ旨トセリ、猶委細ヲ知ラレタキトキハ本場ヘ問合ハセラレタシ
- 二、此ノ報告書ニハ西洋文字ヲ用ヒザルモ、洋語ノ方却テワカリ易キモノハ之ヲ用ヒテ其ノ洋語ナルコトヲ明別スル爲メ平假名ヲ用ヒタリ
- 三、めーとるヲ用ヒントセシモ讀ム人ノ爲メ未ダ猶便ナラザルヲ慮リ遂ニ海ノ深ハ六尺尋、漁具ノ長ハ五尺間、其他尺貫、升ニテ記セリ
- 但シ海洋觀測ノ深ノミハめーとるナリ
- 四、寒暖計ハ攝氏、比重計ハ赤沼式ヲ用ヒタリ
- 五、定置漁具材料試驗ニ付テハ縣水産會發行ノ越佐水産第二十九號ニ其ノ概要ヲ報告シ置ケリ

其ノ他同志ニ掲載セラレタル本場試驗並調査ニ關スル報告アルガ故ニ本書ニ重テ記載スルコトヲ省ケルモノ尠カラズ

六、鱒ニ關スル研究ハ一冊子トシテ既ニ刊行セリ

七、講習、講話、指導ノ如キハ一々之ヲ記載スルノ煩ヲ避ケタリ

14.21-20

目次

- 一、北鮮出稼漁業試験
 - (一) 趣旨
 - (二) 從(漁)期間
 - (三) 試驗(船)場
 - (四) 漁業(種)類
 - (五) 漁業(支)計
 - (六) 漁業(結)算
 - (七) 漁業(期)期
 - (八) 漁業(後)期
- 二、小型機船漁業試験
- 三、罐詰大量製造試験
- 四、燒鯖改良試験
 - (一) 趣旨
 - (二) 裝置及方法
 - (三) 經過及結果
- 五、鮭人工孵化事業
 - (一) 採卵孵化放流



一 二 三 四 五

- (二) 信濃川分水路採卵狀況
 - イ、親魚捕獲
 - ロ、採卵
 - ハ、卵子運搬
- 六、鮎人工孵化事業
- 七、鰻移殖事業
- 八、蛤移殖試験
 - (一) 移入
 - (二) 放養時ノ大サ
 - (三) 經過
- 九、鴨湖水温比重調査
- 十、鯉兒配付事業
 - (一) 淡水養殖場ノ部
 - イ、採卵
 - ロ、孵化
 - ハ、養成配付
 - (二) 月岡鯉兒養成所ノ部
 - イ、採卵
 - ロ、孵化
 - ハ、養成配付
 - (三) 囑託鯉兒養成所ノ部

大正
15. 7 28
内交

七七七

十一、親鯉配付事業

- (一) 有償配付
- (二) 無償配付
- (三) 鯉兒養成所へ配付

一三

十二、鯉鯉養殖試験

- (一) 経過
- (二) 収支計算

一四

十三、鮫養殖試験

- (一) 産卵、孵化
- (二) 産兒配付

一六

十四、ぶるぶるぐ養殖試験

- (一) 飼育
- (二) 成長度
- (三) 冬眠
- (四) 種蛙配付
- (五) 蛸蚪飼育

一六

十五、鹹兒養成試験

- (一) 採卵
- (二) 孵化
- (三) 魚兒養成

一八

十六、溜池利用試験

十七、海洋調査

- (一) 寺泊赤泊間
- (二) 磯崎北西五十湊間
- (三) 海流壇放流
- イ、放流ノ時
- ロ、放流位置並數
- ハ、拾得數
- ニ、流向
- ホ、流速
- ヘ、拾得地方別表

二

十八、漁況調査

- (一) 大羽鱈
- (二) 鯖
- (三) 鯛
- (四) 佐波ノ鱈
- 十九、職員
- 二十、囑託員
- 廿一、歳出決算

二〇

一九

一、北鮮出稼漁業試験

(一) 趣旨

本縣漁業ノ發展ヲ期センニハ新ニ漁場ヲ索メ出漁ヲ獎勵セザルベカラザルヤ必セリ、本縣ヨリノ出稼ニ差當リ有望ナルハ北鮮ニシテ曩ニ北辰丸ヲ以テ豫備的調査ヲナシタルニ廣漠タル漁場、寥々タル漁船、幼稚ナル漁法、本縣ヨリ出稼餘地多キガ如キヲ設シタルモ長期連續ノ漁業試験ヲナスニアラザレバ海況、住居、經營、渡世等ノ狀況ヲ熟知スルヲ得ズ、仍テ先ヅ本年十月ヨリ二月末迄六ヶ月間彌彦丸ヲ派シ實地從漁セシメ實狀ヲ調査スルコト、セリ、試験ノ方法ハ現在朝鮮咸南新浦在住ノ松田利市ニ囑託シ漁具ノ準備漁業ノ經營ヲナサシメタリ

自十月十一日起至三月二十二日五ヶ月半

彌彦丸(十八噸、四十馬力)乘組員内地人七名、鮮人二名乃至三名、十一月明太漁ヨリ朝鮮船一隻ヲ隨屬ス乘組員鮮人十名

- (四) 漁場
- (五) 漁業種類
- 鮭延繩漁業、柔魚釣漁業、明太延繩漁業、明太刺網漁業、鱈延繩漁業、蟹刺網漁業、鰯刺網漁業
- (六) 漁獲表

月別	出漁日數	漁獲金額	魚種	備考
十月	一八日	一〇、三六、三六	鮭、鰈、柔魚、明太	十一日ヨリ出漁
十一月	一七日	三、七三、六、八六	明太、鰈、カレイ	明太延繩
十二月	一六日	二、二六、六、九八	明太	明太刺網
一月	一四日	三六、二、五六	明太	明太刺網及延繩
二月	一一日	二八七、六一	明太	明太刺網及延繩
三月	一三日	四二九、六九	明太及鱈少々	右全、鰯刺網ナシ
計	八九日	八、一一〇、〇六		右全、鰯刺網ナシ

(七) 収支計算

差引	収入ノ部	支出ノ部
一〇、八〇五、七一六	八、一一〇、〇六〇	九〇、〇〇〇
一一、七〇七、七五五	一、〇六〇、一六〇	八一二、〇〇〇
九〇二、〇三九	一、六二五、五〇〇	二四〇、〇〇〇
	一〇、八〇五、七二〇	二〇〇、〇〇〇
		一三〇、〇〇〇
		一、七四六、〇〇〇

- 家賃三棟(一漁期分)
- 漁獲手當金(漁獲ノ一割)
- 彌彦丸保險料(半々年)
- 監督員旅費
- 備船料(朝鮮船二隻)
- 鮮人漁夫給料

四、八九九、〇八〇
 二、三〇八、九〇〇
 一、一六〇、七七五
 一、二一、〇〇〇
 合計 一一、七〇七、七五五

漁具仕込費
 彌彦丸機關燃料
 船員食料
 雜費通信費

(八) 結果

イ、鯖漁業 鯖延縄漁業ハ初メ其豫定ナク漁具ノ準備全カラズ、延縄ヲ以テ代ヘ、相當漁獲アリシモ都合上從漁約一週間ニテ止ム

ロ、柔魚釣 柔魚ハ例年當地方沖合ニテ多數游泳スト雖モ未ダ釣獲ヲ知ラズ十月十七日初テ彌彦丸ニテ釣漁ヲナス一夜三千四八十圓位宛ヲ漁獲セルモ漁具ノ不完全ニテ破損セルト明太漁期ニ入りシヲ以テ中止ス、將來有望ナル漁業ノ一ツナルベシ

ハ、明太漁業 本漁業ハ延縄刺網兩様アリ刺網ヲ以テ大漁業トシ本沿岸ニ於ケル主要ナル漁業ナリ十一月ヨリ彌彦丸ノ外ニ漁船一隻ヲ曳キ初メ延縄ヲ行ヒ次デ刺網ヲ行フ、十二月終リ迄ハ可成リノ漁獲アリシモ一月ニ入り急ニ不漁トナリ連日殆ド漁獲ナキニ至レリ、本年ハ例年ニ比シ一般ニ半漁以下ニシテ新浦ノ如キハ四分一漁ナリ、彌彦丸ハ彼等ノ中ニ就キ一番漁ナリシモ猶豫期ノ成績ヲ舉ゲ得ザリキ

ニ、鱈漁業 例年鱈ハ一月下旬ヨリ漁獲セラル、モ本年ハ大不漁ニシテ三月ニ至ルモ襲來セズ二回許リ刺網ヲ行ヒタルモ漁獲皆無ナリキ

ホ、鱈延縄漁業 鱈延縄ハ二三月頃ヨリ相當漁獲アルベキモ

前記鱈無漁ノ爲メ餌料ナク鹽醃、生牛肉等ヲ使用シ從漁セラルニ殆ンド漁獲ナカリキ

ハ、蟹刺網漁業 本漁業ハ當地方ニハ未ダ行ハレズ明太漁期後一回試験セルニ漁獲皆無ナリキ

右ヲ要スルニ本年度ニ於テハ彼地ノ主要魚タル明太漁ノ薄漁ナリシニ加ヘ鱈、鱈亦不漁ナリシヲ以テ豫期ノ漁獲ヲ舉ゲ得ザリシハ遺憾ナリキ、大正十五年度ニ於テハ周年引續キ本事業ヲ試ムトス

尙ホ第一着ノ出漁船ハ佐渡郡二宮村及三島郡寺泊町ヨリ各一隻宛大正十五年六月出帆スルコト、ナレリ

本縣水産會ニ於テモ當業者ヲ派遣シ長期ニ亘リ詳密ナル視察ヲ遂ゲシムルコトニ決セリ

二、小型機船漁業試験

(一) 前期

イ、趣旨 小型發動機漁船ノ未ダ普及セザル地方ニ於テ漁業者ニ本船ヲ使用セシメ之ガ普及ヲ計ルヲ目的トス

ロ、試験船 浦濱丸(巾七尺、六馬力)

ハ、被囑託者 佐渡郡金泉村姫津 松見泰藏

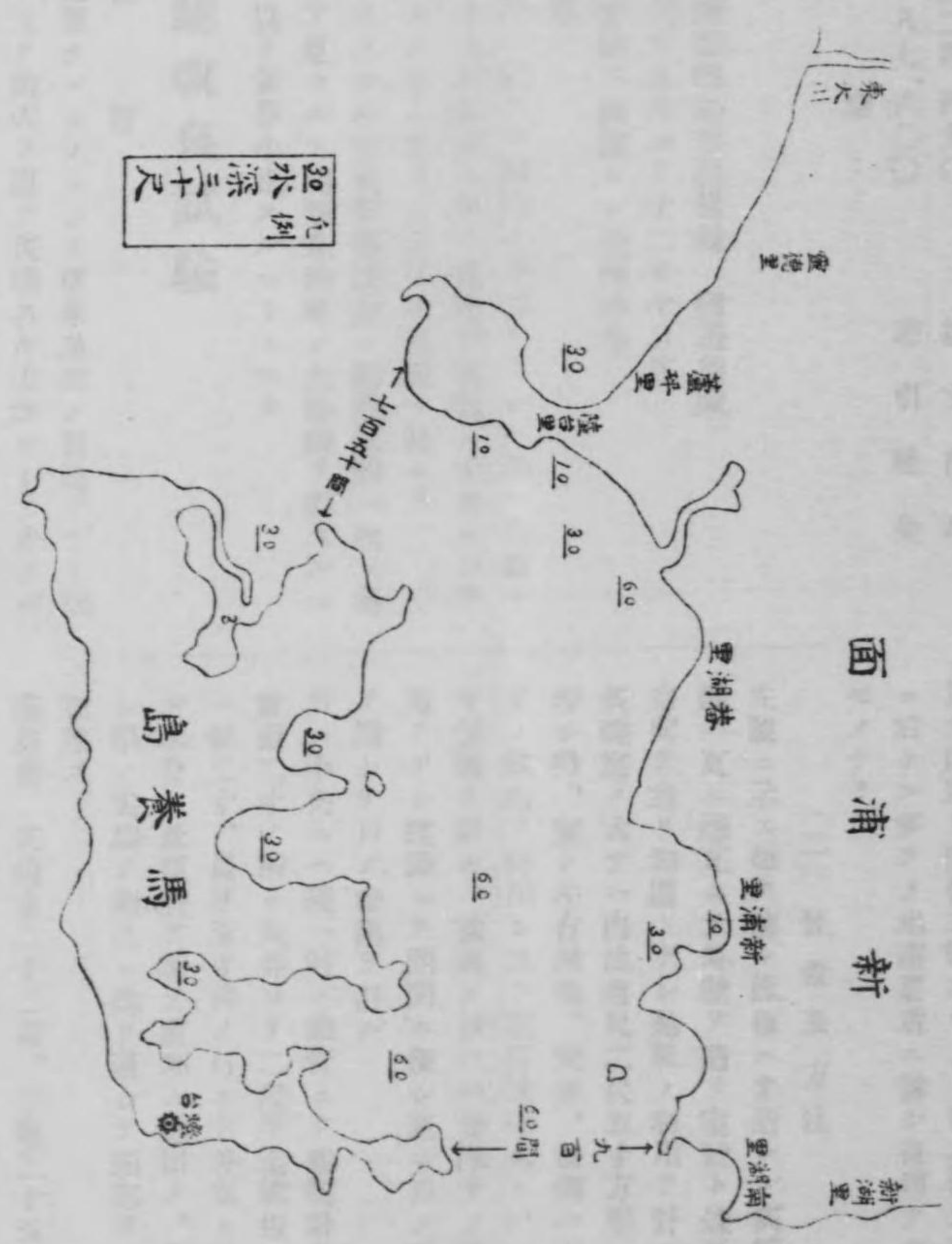
ニ、試験期間 四月一日ヨリ六月末迄三ヶ月間

ホ、漁場 佐渡郡浦川ヲ根據トシ全地沖ヨリ鷺崎沖合及姫津ヲ根據トシ全地沖合

ハ、漁業種類 鱈、鱈延縄、鱈刺網、鯖延縄

ト、結果 漁業ノ方法宜シカラザリシト發動機ノ故障多ク之ガ爲メ漁獲僅少ニ過ギズ左ニ其収支ヲ示ス





黄河水利委员会
三门峡水利枢纽工程
三门峡水利枢纽工程
三门峡水利枢纽工程
三门峡水利枢纽工程



記 収支計算

四一、二〇九〇	總漁獲高
三二四、四九〇	總支出高
八七、六〇〇	差引殘金

(一) 後期

イ、趣旨 前同様
 ロ、試験船 同前
 ハ、被囑託者 佐渡郡内海府村鷺崎 渡邊熊藏
 ニ、試験期間 八月十五日ヨリ二十日迄
 ホ、漁場 佐渡郡茂浦ヲ根據トシ全地沖合
 ヘ、漁業 鰯漁業

ト、結果 本年同所ニ於ケル鰯漁ノ不況ナリシニ加ヘ引續キ機關ノ運轉面白カラズ休漁日多ク漁獲日數僅ニ十日ニシテ収支經濟ヲ記載スル迄ニ至ラズ之又不成績ニ終レリ

附記 浦濱丸ヲ以テスル小型發動機漁船ノ經濟試驗ハ既ニ各方面ニ普及ヲ見タルト浦濱丸機關ノ大修繕ヲ要スルニ至レルトヲ以テ當分中止スルコト、セリ

三、燒鯖改良試驗

(一) 趣旨

鯖處理法中最モ簡單ナルモノトシテ從來濱燒ノ製造アリ土間ニ砂ヲ盛り鯖串ヲ立テ炭火ヲ以テ炙燒スル方法ニシテ小ナル家内作業トシテ行ハレツ、アリ、然レドモ甚ダ小規模ニシテ普通ノモノ一回二十尾乃至二十五尾處理ヲナスニ過ギズ、火熱ノ利用モ亦極メテ不經濟ナリ、從來ノ産額亦僅ニシテ數フ

ルニ足ラズ供給普カラズ隨テ此ノ製品ヲ知ル人少キモ長野縣ノ如キ山間部ニ輸送シテ猶美味ヲ失ハザル保鮮力アルベキヲ以テ販路ヲ擴張シ得ルモノト信ズ依テ本試驗ヲ行ヒ以テ漁村ニ於ケル多クノ水産業者ニ對シ有利ナル副業ヲ與ヘントスルモノナリ

(二) 裝置及方法

左圖ニ示ス如ク薄キ鐵板ニテ造レル炙燒室ヲ竈ニ乗セ室ノ周圍ハ更ニ煉瓦ニテ外壁ヲ造リ室壁ト煉瓦壁トノ間ハ三寸幅ノ空間ヲ造リ煙道トナシ熱氣ノ利用ヲ計ルモノトス

炙燒室ノ大サハ内法曲尺二尺五寸方形ニシテ鯖五十四尾ヲ收容シ得、室ノ左右兩側、天井、後側ハ五厘厚、底部ハ一部厚サノ鐵板ヲ使用シ且ツ室口及中央ニハ一時あんぐる鐵材ヲ卷キ保強ヲ計ル、前面ノ戸ハ一分厚サノ鐵板ニ鐵葉板ヲ張り二重トナシ蝶番ニテ開閉ニ便シ更ニ戸ノ周圍十二個所ニ「ネジ」ヲ附シテ戸ノ密閉ヲ計ル

戸ノ中央ニハ徑一時ノ鐵管ニテ寒暖計ヲ取付ク、室ノ後壁ノ前面二寸ノ所ニ天井ヨリ二尺下迄鐵板ニテ區劃シ區劃ノ上部ハ幅二寸、長サ五寸角ノ口ニテ外氣ニ通ズ、魚体ヨリ蒸發セル水分ハ此區劃ヲ經テ室外ニ逃出ス、魚ヲ燒クニハ金串ニ刺シ串ノ尖端ノ細孔ニ鈎ヲ通シテ頭部ヲ下ニシテ室内ニ懸垂シ加熱ス

築造費 炙燒室二十二圓、全竈三十五圓四十錢

(三) 經過及結果

六月七日ヨリ七月十一日迄ニ鯖二千五百五十尾ヲ炙燒セリ製品ノ大部分ハ頭及尾部ヲ切り落シタルモノニシテ(頭付ノ

儘燒キタルモノハ加熱ト共ニ吻端ノ脂肪質肉解ケ落テ外觀商
品ニ適當セズ初メ三十分間位ハ攝氏八十度ニテ後一時間百
二三十度ニテ燒キ上ゲ得タリ、而シテ本裝置ハ經濟的ニ猶ホ
欠點アルヲ認メタレバ本年度ニ於テハ專ラ之ガ改善ニ盡シ從
テ經濟的製造試驗ヲナスヲ得ザリキ
試製品ハ生利節製品ト同一市場ニ同時ニ試賣シテ嗜好適否ヲ
比較セルニ總テ生利節ト同位段ニ取引セラレタリ、然シ此ハ
本品ノ未ダ廣ク知ラレザル爲メニシテ其ノ外觀、食味共ニ生
利節製ノ比ニアラザルモノナリ
試賣ノ結果次ノ如シ

試賣先	被託者	圖數	送荷月日	總尾數	平均賣價
若松	關井常吉	五	自六、一三	四一五	八、八
全	下山喜右衛門	五	自六、一三	三〇五	一〇、四
郡山	松本長吉	三	自六、一〇	二〇九	一一、二
福島	渡邊又兵衛	二	自六、一〇	三一一	六、九
米澤	澤魚市場	二	自六、一〇	一〇一	一三、二
長野	野魚商會社	一	自六、一〇	九六	四、五
福島縣	春波邊德四郎	二	自六、一〇	一六八	九、八
全	真多方	四	自六、一〇	一九五	八、九
全	白河	一	自六、一三	四六	一四、二
全	二本松	一	自六、一三	五〇	一五、〇
全	須賀川	二	自六、一四	一一一	一一、一

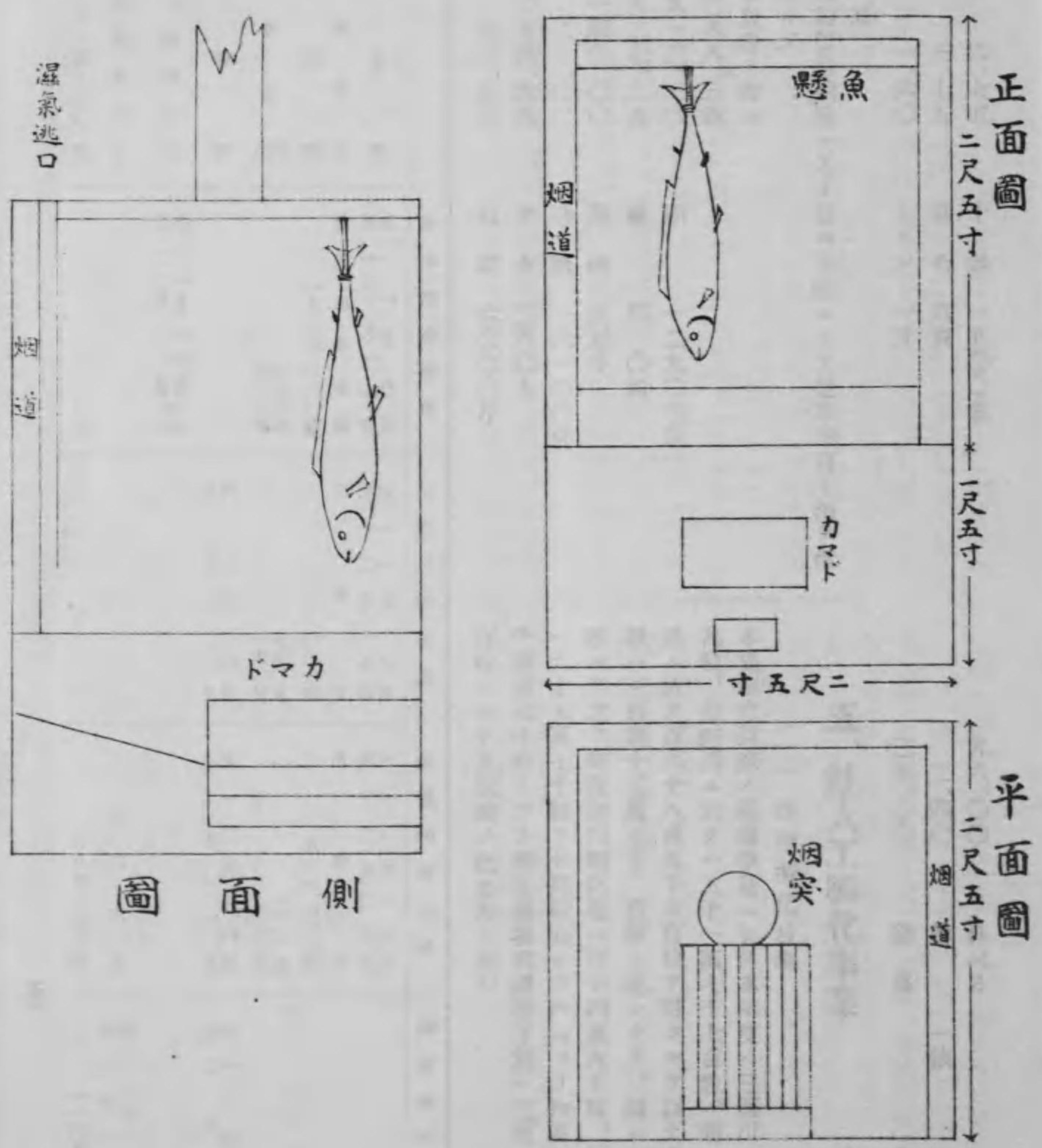
四、罐詰大量製造試驗

卷締機せみとろしヲ使用スル罐詰大量製造試驗ヲ寺泊町連

沼徳治ニ囑託セシニ其ノ成績左ノ如シ

五月中旬豊漁ナリシモ頓ニ不漁トナリ百三十函(一ぼんど丸
罐四打入)ヲ作りシニ止ル
其ノ生産費左ノ如シ

- 金 一、〇〇二、八三
- 内 二五一、七三
- 五二四、〇〇
- 四八、四〇
- 八、二〇
- 二七、五〇
- 六五、〇〇
- 八一、〇〇
- 一五、〇〇
- 鯨 四六、五〇〇尾
- 罐 一三二函
- 醬油 一二一升
- 砂糖 六貫
- 石炭 一、五〇〇斤
- れべる 一三〇函分
- 女人夫 一三〇人
- 木炭其他雜費
- 鯨 二七貫
- 罐 一五函
- 女 二五人
- 醬油 一六升
- 砂糖 三六〇〇匁
- 石炭 一五〇斤
- れべる



側面圖

平面圖

正面圖

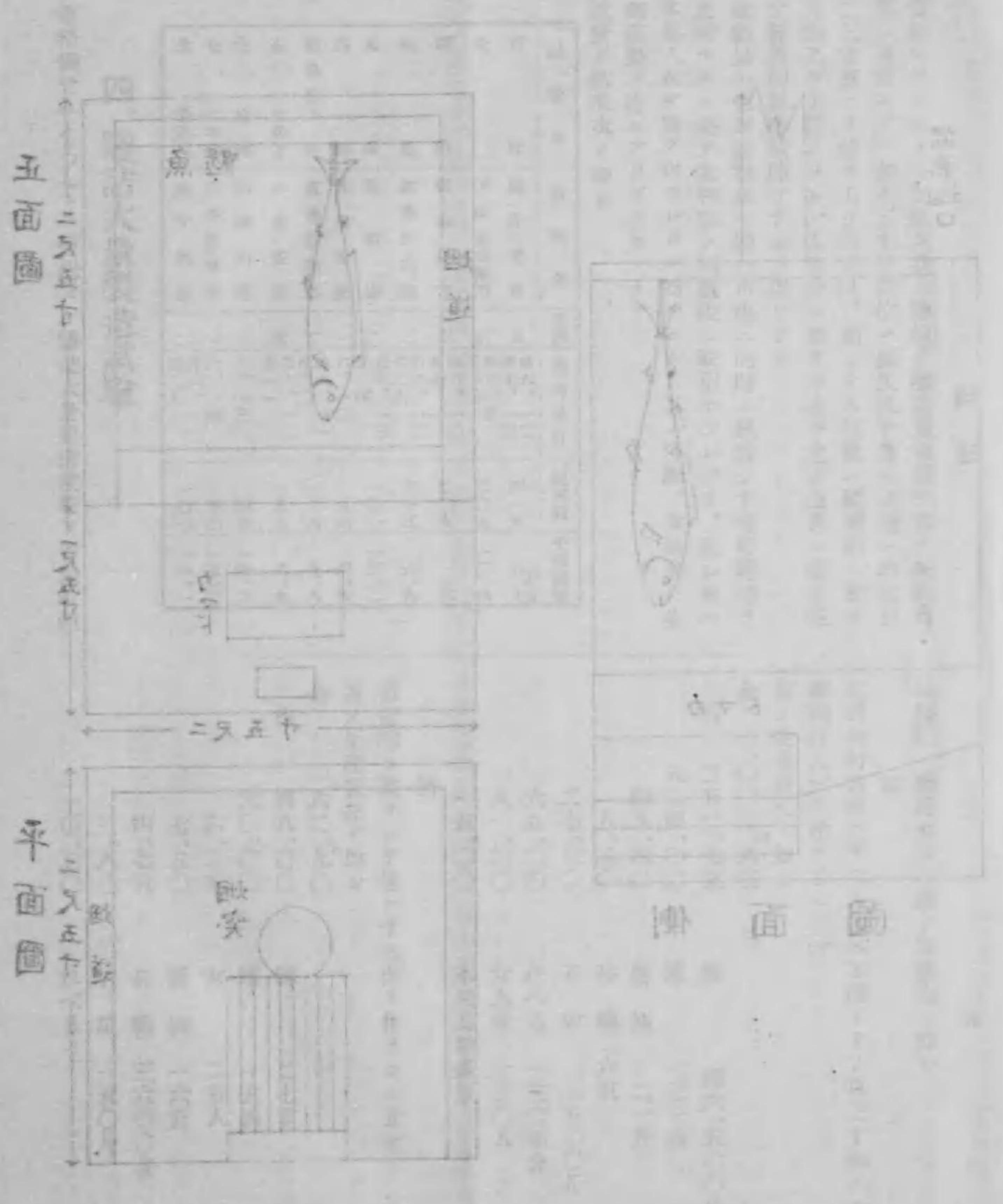
採卵期	採卵所	採卵數	親魚數	發眼期	卵子發送月日	卵子到着月日
自一月二八日	信濃川分水路	一九八五、五〇〇粒	六九六尾	自一月一〇日	自一月一〇日	自一月一〇日
自一月二八日	三面川	九五〇、〇〇〇粒	七五〇尾	自一月一〇日	自一月一〇日	自一月一〇日
自一月二九日	信濃川	五一七、七〇〇粒	二二三尾	自一月一四日	自一月一四日	自一月一四日
自一月十六日	阿賀野川	一一四八、〇〇〇粒	一一四八尾	自一月一七日	自一月一七日	自一月一七日

七月ノ鱒製造期節ニ入り恰モ不漁ニシテ是亦四百十兩ヲ作リシニ過ギズ
其ノ生産費左ノ如シ
金 三、〇八八、三四
内 九一三、五〇
一、五二七、二五
一四〇、〇〇
二一、〇〇
二五四、六九
九八、五〇

鱒 一二九〇〇尾
鱒 四一〇函
醬油 三五斗
砂糖 一六一〇〇匁
男女 三八〇人
石炭 六〇〇〇斤

五、鮭人工孵化事業
(一) 採卵孵化放流
本場創立以來ノ繼續事業ニシテ本年度ハ三面川ニ於テ九十五萬粒、魚野川ニ於テハ五十一萬七千七百粒、新ニ信濃川分水路ニ於テ百九十八萬五千五百粒ヲ得タルヲ以テ本年度採卵總數ハ三百四十五萬三千二百粒ニ達シタリ、而シテ分水路採卵所ヨリ之ヲ阿賀野川孵化場へ百十四萬八千粒、信濃川孵化場へ六十五萬七千粒ヲ分送收容シタルニヨリ後者ハ百一十一萬七千四百七十粒トナリ孵化場收容總卵數ハ三百二十萬五千四百粒ニシテ其成績ノ概要左ノ如シ

九六、〇〇
二、四〇
三五、〇〇
れべる
鹽 一俵
雜費



放流場	放流時	均平	正午	温水	水深	死			産			投	解		
						至	至	至	至	至	至				
所	日	終	終	終	終	終	終	終	終	終	終	間	期		
三 面 川	自 全 月 二 五 日 九 回	八 六 八 九 一 二 尾	九度二	九度二	九度二	九度二	九度二	九度二	九度二	九度二	九度二	至	一月二八日		
			七度六	七度六	七度六	七度六	七度六	七度六	七度六	七度六	七度六	七度六	至	二月五日	
			五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	五度八	至	三月五日
魚 (野 信濃川支流)	自 三 月 二 五 日 七 回	一 一 〇 八 八 三 尾	九度二	九度三	九度三	九度三	九度三	九度三	九度三	九度三	九度三	至	三月八日		
			七度三	七度三	七度三	七度三	七度三	七度三	七度三	七度三	七度三	七度三	至	三月九日	
			七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	七度二	至	三月九日
早 (阿賀野川支流)	自 全 月 二 五 日 三 回	一 〇 八 五 九 六 三 尾	七度〇	八度七	八度七	八度七	八度七	八度七	八度七	八度七	八度七	至	三月九日		
			七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	至	三月九日
			七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	七度〇	至	三月九日

(二) 信濃川分水路採卵状況

信濃川分水路自在堰下ニ多數鮭ノ浜上停滯セルヲ發見シ十一月六日試ニ親魚ノ熟否ヲ調査セシニ充分成熟セルヲ確メシヲ以テ直ニ採卵ニ着手スルコト、セルモ何分突然ノコトニシテ何等ノ準備ナク應急ノ十一月八日ヨリ採卵ヲ開始シタリ、親魚ハ主トシテ採卵ヲ使用シ自在堰原三枚以上伏臥スル場合ハ下流水位高マリ且ツ水勢強キヲ以テ採卵ヲ休ミタル日アルモ大休冬季ニ亘リテハ本流ノ水量減ズルノ時期ニシテ原ハ一枚又ハ二枚ノ伏臥ニ止ルコト多ク此場合ニ親魚ハ開キタル

扉下ノ流ノ兩側ニ列ヲ成シテ集ルヲ以テ採網ニテ捕獲スルコト比較ノ容易ナリ、又水量増加シ固定堰ニ二、三寸乃至四、五寸ノ溢流アル場合ニハ固定堰下流ニ水溜ヲナス溝ハ自在堰下河川ヨリ通水スルヲ以テ水量多キ自在堰下ニ集リテ遡上出來ザルタメ自然固定堰方面ノ溝ニ集リ堰上四、五寸ノ溢流ノ場合ニハ見事遡上セルモ水量減ジ溢流二、三寸ニ止ルトキハ溝ニ集リ手ニテ四、五十尾ヲ捕獲セルコトアリ捕獲セル親魚中未熟魚ハ直ニ上流へ放チ成熟魚ハ全部採卵セリ

發電所前自在堰びり下ニ於テ切開法ニヨリ採卵シ卵子ハ最初三、四日間ハ堰上水面ニすとん式孵化盆ニ収容シ一時ノ急ヲ凌ギタルモ収容ノ場所適當ナラザルヲ以テ更ニあつとさんす式孵化器ニ収容シ之ヲ發電所裏ノ蒲原用水路(河幅二間水深二尺)ノ河川中ニ適宜杭ヲ打込ミ縛リ浮上セザル様装置セリ(孵化槽ハ換水ヲ容易ナラシムルタメ注排水ノ部分ヲ七寸角ニ切抜キ金網ヲ張りタリ)

ハ、卵 子 運 搬

本採卵所ハ臨時ニ設置シタルモノナルヲ以テ孵化場ヲ有セズ河川中ニ置キ以テ發眼ヲ待チ信濃川、阿賀野川兩孵化場へ送付シ収容スル豫定ナリシモ當地ハ例年降雪夥シク刺へ風ノ場合ニハ平地ノ積雪ヲモ河川中へ吹雪込ムヲ以テ河流水位激降シ孵化器浸漬ノ河川ノ如キハ降積融解ノ暇モナク夜間ノ寒氣ニ遇ヒ水面上ニ堅氷ヲ結ブ事旬日ニ亘ル事アリ卵子ノ發育遅々トシテ進マズ經費及管理ノ上ニ不都合ヲ感ズル事甚大ナリシヲ以テ未ダ發眼ニ少カラヌ時日アル軟弱ナル卵子ヲ細心ノ注意ヲ以テ運搬セルニ豫想外ニ好成绩ヲ得タリ即チ左ノ如シ

卵子發送場名	信濃川孵化場	阿賀野川孵化場
卵子發送日時	一月二六日午前一時	自一月一六日至二月一〇日五回毎回午前八時五分
卵子到着日時	一月二八日午後三時	翌日午前八時三〇分
卵子發送粒數	六五七、〇〇〇粒	一、一四八、〇〇〇粒
運搬方法	信濃川ヨリ船便	鐵道便及陸路ハ雪掃
運搬中死粒數	一三三	一三六
運送ニヨル死卵率	一七、〇〇〇粒	五、五〇〇粒
	二歩	四歩

六、鮎人工孵化事業

前年ト同シク北魚沼郡川口村關久松ニ囑託シ五百萬粒採卵四百五十六萬三千粒孵化放流セリ

七、鰻移植事業

本試驗ハ大正七年ヨリノ繼續事業ニシテ前年度ニ於テハ愛知縣ヨリ種苗採捕ノ許可ヲ受ケ(同縣下矢作古川ニテ採捕)白鰻三貫匁ヲ中頸城郡朝日池ニ移植セルニ良好ナル成績ヲ得タルニヨリ本年度ハ更ニ他ノ湖沼ニ多數移植ノ目的ヲ以テ原產地茨城縣ヨリ白鰻ノ分譲ヲ受クル様依頼セルモ氣候ノ爲メカ採捕不能ニ終リ遂ニ白鰻ハ移植スルヲ得ズ之レガ代用トシテ細鰻ヲ移植セリ其概要左ノ如シ

放流尾数	運搬中死	運搬時池面水温	放流時箱内水温	放流時氣象	放流時日	移送地	移产地	原産地
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月一日正午	宮城縣松島村	中蒲原郡島野野湯	宮城縣松島村
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月二日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月三日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月四日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月五日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月六日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月七日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月八日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月九日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上
約一三尾	一八貫一四〇〇尾	一八	二二	晴、和北風氣温二二度	六月十日午後一時	全羽郡鶴川上	刈羽郡鶴川上	全羽郡鶴川上

八、蛤移殖試験

前年度ヨリノ繼續試験ニシテ本年度ハ十二石八斗(二斗入六十四呎)ヲ移殖シ場所ハ佐渡郡鴨湖内ニシテ前年度以外ノ所ヲ選ベリ

(一) 移入
四月十七日原産地愛知縣寶飯郡前芝港ニテ蓄養ノモノヲ荷造シ午後零時御油驛ヨリ鐵路新潟驛ニ其ヨリ汽船ニテ四月二十一日午後七時佐渡分場着此間五日ヲ要シタリ而テ到着時以内温度十呎平均一五度一分同時氣温一三度三分ナリ
放養區 兩津橋沖(1) 瀧端秋津沖(2) 吾瀧沖(4) 瀧端辨天沖(5) 瀧端北東入江沖(6)
(二) 放養時ノ大サ
十回測定樹切一升粒數平均五四三粒、重量四四九匁、夾雜物

九、鴨湖調査

從來ノ如ク本湖ノ水温比重ヲ周年觀測シ其ノ變化ヲ調査セリ

十、鯉兒配付事業

(一) 淡水養殖場ノ部
イ、採卵
本年融雪期遅レ天候不順ニシテ水温ノ上昇遅レ漸ク四月二十一日ヨリ投餌親魚ノ成熟ヲ計ル、五月八日ヨリ六月十九日マデ六回ニ産卵セリ

採卵日	卵數	發眼	孵化開始	孵化終了	新化ニ要シタル日	平均水温	斃	死	孵	化
五月八日	三〇、〇〇〇	五月九日	五月十三日	五月十四日	七日	二〇、九	二九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五月十二日	一五〇、〇〇〇	五月十三日	五月十七日	五月十八日	七日	二〇、九	一三五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
五月二十一日	五、〇〇〇	五月二十二日	五月二十五日	五月二十六日	七日	二〇、九	二、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
五月三十一日	五、〇〇〇	五月三十一日	六月二日	六月三日	七日	二〇、九	七〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
六月五日	一〇〇、〇〇〇	六月六日	六月八日	六月九日	七日	二〇、九	二八、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
六月十八日	三〇〇、〇〇〇	六月十九日	六月二十二日	六月二十三日	七日	二〇、九	九〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六月二十九日	一〇〇、〇〇〇	六月三十日	七月一日	七月二日	七日	二〇、九	三五四、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
合計或ハ平均	四一五、〇〇〇	六月二日	六月六日	六月七日	七日	二〇、九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

ハ、養成配付

鯉兒ニハ主餌トシテ「ミチンコ」ヲ補助餌トシテ大麥、田螺、乾燥蠶蛹粉ヲ給與シテ養成シ六月十六日休長一寸前後ノモノ、第一回選別ヲ行ヒ其他ノモノモ成長ニ從ヒ選別シ配付出願者ニ配付殘餘ハ本場ニ於テ養成セリ

第一回選別狀况左ノ如シ
鯉兒撰別表

孵化月日	孵化兒數	体一寸以上長	体一寸未滿長	斃死兒數	日養成數
五月十四日	一、〇〇〇	五〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	三二二
五月十八日	一、〇〇〇	三、五〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	二二八

トシテ鯛一二、盲貝四〇、死蛤八ヲ混ジ二十個平均宛十回ノ大サハ平均殼長七分九、高六分八巾三分七ナリ
(二) 移殖後ノ經過
一般水深五尺内外ノ鯛赤貝ノ採貝者ニヨリ採捕セラル、ヲ開カザルガ棲息地帯ガ放養場所ヨリ移動シテ深キニアルモノト認メラル
成長度ヲ檢センガ爲メ放養當日長江川尻水深平均一尺ノ場所ニ種貝二斗ヲ約三坪ヲ區劃シテ放養セルニ完全ニ生息シ其成長度左表ノ如シ

採卵月日	産卵雌	魚巢數	量	採卵數
五月八日	一尾	棕栂皮	二〇枚	三〇、〇〇〇
五月十二日	一尾	全	七〇	一五〇、〇〇〇
五月二十一日	一尾	全	四〇	五、〇〇〇
五月三十一日	一尾	全	六〇	一〇〇、〇〇〇
六月五日	一尾	全	五〇	三〇、〇〇〇
六月十八日	一尾	全	六〇	一〇〇、〇〇〇
六月二十九日	一尾	全	三〇〇	四一五、〇〇〇

第一回採卵ノモノハ發育良好ナリシモ孵化前日荒天ノタメ卵ヲ甚シク害セラレ又孵化期中引用水ノ汚濁ニ因リテ他ノモノモ成績不良ナリキ即チ左ノ如シ

計	五、二八	三、〇〇〇	二、五〇〇	五〇〇	一八
計	六、九	三〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一六
計	四九、〇〇〇	四、〇〇〇	二四、〇〇〇	二、〇〇〇	一

有償配付

配付月日	住所	氏名	種類	面積	配付尾数	代金
七月八日	三島郡水津村逆谷	小熊 孫七	溜池	三〇〇坪	一、〇〇〇	一、〇〇〇
七月九日	三島郡脇野町吉崎	中川 熊次郎	全	一、六〇〇	六〇〇	六〇〇
七月九日	三島郡脇野町吉崎	高野 忠次	水田	二、二〇〇	七〇〇	七〇〇
計	七、一〇	三名	全	三、一〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇

無償配付

配付月日	住所	氏名	種類	面積	配付尾数
七月九日	三島郡興板町本	田中 五郎	溜池	九、八一七	一、〇〇〇
七月九日	三島郡興板町本	丸山 典一	全	七〇〇	一、〇〇〇
七月九日	三島郡大磯村千本	中村 榮一	全	八、一〇〇	二、四〇〇
計	七、二〇	三名	全	一、一、三二七	四、四〇〇

(二) 月岡鯉兒養成所ノ部

採卵月日	卵数	發眼月日	孵化開始	孵化終了
五月五日	一五、〇〇〇	五月七日	五月十二日	五月十三日
五月七日	三五、〇〇〇	五月九日	五月十二日	五月十三日
五月八日	四〇、〇〇〇	五月十一日	五月十二日	五月十三日
五月八日	三二、〇〇〇	五月十一日	五月十二日	五月十三日
五月二二日	一〇、〇〇〇	五月二四日	五月二七日	五月三十日
五月二五日	一〇、〇〇〇	五月二七日	五月三十日	六月二日
五月二六日	二〇、〇〇〇	五月二七日	五月三十日	六月二日

親鯉ハ四月十三日淡水養殖場ヨリ運搬シ五月五日ヨリ五月三十一日迄九回ニ産卵セリ

採卵月日	産卵数	魚種	魚数	採卵数
五月五日	一	金魚	三	一五、〇〇〇
五月七日	一	金魚	八	三五、〇〇〇
五月八日	一	金魚	八	四〇、〇〇〇
五月九日	一	金魚	八	三二、〇〇〇
五月二二日	一	金魚	〇	一〇、〇〇〇
五月二五日	一	金魚	五	一〇、〇〇〇
五月二六日	一	金魚	五	一〇、〇〇〇
五月二八日	一	金魚	一	一五、〇〇〇
五月三〇日	一	金魚	二	三〇、〇〇〇
計	五、三一	全	一八、三〇	一三三、〇〇〇

口、孵化

五月五日採卵ノモノハ五千粒ヲ試験ノタメ鯉兒飼育室内池ニ収容セルニ水温低キタメカ全部斃死シ孵化池ニ収容セルモノハ十二日孵化シ其他ノモノモ順次孵化發生セリ

即チ左表ノ如シ

孵化日数	平均水温	斃	解	化
八日	一八、七	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九日	一九、〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
八日	一九、五	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
七日	二〇、〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
八日	一八、九	二五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
九日	一八、一	八、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇

配付月日	住所	姓名	先	水面種類	水面積	配付尾数
六二六	三島郡深才村字本大島	青	年	溜池	二、二〇〇	二、〇〇〇
七、九	三島郡深才村字本大島	青	年	溜池	九、八一七	一、〇〇〇
七、二	全關原村	農	三	水田	二、一〇〇	六、〇〇〇
計					一四、一七	九、〇〇〇

(三) 囑託鯉兒養成所ノ部

縣下各地ノ稻田養鯉面積及個人養魚ノ面積ヨリ考察スルトキハ恐クハ縣全体トシテ要スル鯉兒數一ケ年二千萬尾以上ニ達スベク之ヲ供給スルニハ到底一、二ケ所ノ鯉兒養成所ニテナシ得ベキ所ニアラズ又鯉兒ハ運搬時ニ損耗多ク且ツ運搬費ヲ要スルコト少カラザルヲ以テ各地ニ其養成所ヲ設置スルノ要アリ而テ鯉兒ノ供給難ハ延イテ鯉兒養成業者ニ無理ノ採卵ヲ

ナシメ親魚ノ選擇ニ意ヲ用フルニ違ナカラシムル結果ハ其鯉兒ノ飼育成績ヲ不良ナラシムル因トナル可キニヨリ本場ハ左記重要ノ地ニ囑託鯉兒養成所五ケ所ヲ置キ以テ種鯉供給ノ潤澤優良種ノ普及並ニ技術ノ指導ニ資スルコト、セリ、而テ各所ニ配付セル親鯉ハ雌十五尾、雄三十五尾ニシテ系統優良ナル信州鯉五歳乃至七歳ノモノナリ、之ヨリ得ベキ見込鯉兒數一ケ年十五萬尾以上ナリシモ本年ハ成績ヨカラズ即チ左表ノ如シ

位	囑託鯉兒養成所	氏名	水面種類	使用面積	産卵數	養成配付鯉兒數
中頭城郡黒川村米山寺	藤場治孝	稻田	二、四〇〇	三五〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	
中魚沼郡水津村伊達	上村幸一	田	二、四〇〇	一九〇、〇〇〇	三八、〇〇〇	
南魚沼郡敷神村一村尾	井上菊雄	田	一、六七八	一一〇、〇〇〇	三八、五〇〇	
北魚沼郡洲之内村龍光	下村常吉	田	一、二〇〇	七五〇、〇〇〇	五、七二〇	
北蒲原郡金谷村貝塚	森谷啓吉	田	六九三	四五五、〇〇〇	一一九、四〇〇	
平	五ヶ所		八、三七一	二九五五、〇〇〇	五七一、六二〇	
合				五九一、〇〇〇	一一四、三二四	

右表ニ就テ其成績ヲ視ルニ各所共相當ナル卵數ヲ得タルモ体長一寸迄成長シタル鯉兒ニ至テハ豫定數ヲ超エタルモノ一、豫定數ニ近キモノ一ニシテ他ハ遠ク及バズ其成績不良ナリシ

ハ産卵期ニ近キテ親魚ヲ運搬シタル關係上親魚ヲ損傷又ハ斃死ニ至ラシメタル外稻田利用ノモノニ於テハ孵化鯉兒ニ對スルみぢんこ不足ノ爲メ或ハ其飼育處置ニ於テ不慣ナリ等ニ因

ルナリト認ム

附 追加設置セルモノ

位	囑託鯉兒養成所	氏名	水面種類	使用面積	親魚
東頭城郡小黒村小黒	金井彌五郎	田	四五〇	一五	三五
中蒲原郡龜田町早通	佐藤豊三郎	田	一、〇三七	一五	三五
岩船郡神納村七湊	寺澤修次	田	二五〇	一五	三五

次年度ニ於テ更ニ囑託鯉兒養成所ヲ増加センガ爲メ本年度十二月中新設シ親鯉ヲ交付セルモノ左表ノ如シ

十一、親鯉配付事業

淡水養殖場ニ於テ養成シタル鯉魚ノ内優秀ナルモノヲ選出シ

親鯉トシテ左ノ如ク配付セリ

(一) 有償配付

賣渡月日	雌雄別	尾数	重量	代金	住所	氏名	先
一月二十五日	雌	一〇五	二、三〇〇	一七五〇	東頭城郡松ノ山村湯山	高澤豊平	
一月二十二日	雌	三一	六四〇〇	三、五〇〇	三島郡大津村建谷	新保徳次郎	
一月二七日	雌	五一	八五〇〇	四、五五〇	北蒲原郡金谷村貝塚	森谷啓吉	
一月二九日	雌	二八	五、三〇〇	三八、一五〇	東頭城郡長	高岡隆平	
一月二三日	雌	一四	二、七〇〇	二五、五〇〇	南魚沼郡東村	養鯉組合長 上村清一郎	
合計	計	七三	二五、五〇〇	九九、二五〇			五名

(二) 無償配付

配付月日	雌雄別	尾数	重量	住所	氏名	先
一月二〇日	雌	一〇〇	三三、一〇〇	中魚沼郡	農	會

(三) 既設鯉兒養成所へ補充

交付月日	雌雄別	尾	数	重	量	住 所	氏 名
11月10日	雌	尾	16	4.70	4.70	中魚沼郡水澤村伊達	上村 幸一
11月14日	雌	尾	5	2.40	2.40	南魚沼郡新井村一尾	井上 菊雄
11月25日	雌	尾	3	3.20	3.20	中魚沼郡黒川村米山寺	麻場 治孝
11月26日	雌	尾	1	1.90	1.90	北魚沼郡堀之内村龍光	下村 常吉
11月26日	雄	尾	8	4.70	4.70	北魚沼郡金塚村貝塚	森谷 啓吉
合計			38	19.50	19.50		五ヶ所

新設鯉兒養成所へ配付

交付月日	雌雄別	尾	数	重	量	住 所	氏 名
11月9日	雌	尾	5	3.50	3.50	中魚沼郡魚田町早通	佐藤 豊三郎
11月10日	雌	尾	5	3.50	3.50	東魚沼郡小黒村小黒	金井 彌五郎
11月11日	雌	尾	5	3.50	3.50	岩船郡神納村七湊	寺澤 修次
合計			15	10.50	10.50		三ヶ所

十二、鰻養殖試験

(一) 経過

養魚經濟試験ニハ第十九號池、第二十號池、第二十一號池ヲ使用シ、鰻ヲ飼養セリ其成績左ノ如シ
 一、第十九號池、六月二十四日鯉兒一寸大ノモノ二千尾七月二十六日鯉兒二百尾放養シ餌料ハ六月下旬迄乾燥蠶蛹十一貫

八百匁投與シ十一月八日池替シタルニ鯉魚四寸大ノモノ五百尾ヲ得タリ

第二十號池、前年十二月三日平均一尾十一匁ノ細鰻一貫匁一尾平均八匁ノモノ十三貫匁放養シ餌料ハ四月下旬ヨリ田螺九斗、鹽藏大羽蠶三千六百六十尾、乾燥蠶蛹二十七貫匁、生蠶蛹一石一斗ヲ十月下旬迄投與シ十一月十七日池替シタルニ鰻十五貫匁、鰻四貫匁ヲ得タリ

第二十一號池、前年十二月九日四歲鯉七寸大ノモノ四百九十二尾當歲鯉三寸大ノモノ五百四十尾、本年三月十五日三歲鯉一尺二寸大ノモノ十九尾、五月十一日三歲鯉二十九尾、同三十日色鯉一尺二寸大ノモノ三十尾、六月二十四日鯉一尾平均百八十匁ノモノ二十一尾、同一尾七百匁平均ノモノ十九尾放養シ餌料ハ五月上旬ヨリ十月上旬迄乾燥蠶蛹五百七十貫匁五百匁投與シ十一月三日池替鯉魚二百三貫匁、鰻十五貫匁ヲ得外ニ六月十一日曳網ニテ鯉魚五尾一貫匁、七月下旬病鯉魚八尾一貫七百匁ヲ捕獲セリ

(二) 収支決算表

養魚經濟試験ニ於ケル本年度収支計算表左ノ如シ

内 容	總 支 出 高	餌 料 費
金參百七拾壹圓九拾五錢七厘		第十九號池
金六圓六拾七錢七厘		第二十一號池
金四拾八圓九拾貳錢五厘		第二十二號池
金參百七拾壹圓九拾五錢五厘		種 苗 費
金百八拾壹圓壹錢		

金拾八圓
 金七圓拾貳錢
 金百四圓四拾九錢
 金六拾九圓
 一金六百拾參圓五拾錢

消 耗 品 費
 運 搬 費
 人 夫 賃
 借 地 料
 總 収 入 高 (見 積 高)

金拾七圓五拾錢
 但シ鯉魚當歲ノ秋五百尾代
 金百六圓

第十九號池收入高(見積高)
 第二十號池收入高(見積高)

金百圓
 金六圓
 金四百九拾圓

鰻十五貫匁代
 鰻四貫匁代
 第二十一號池收入高(見積高)

金四百七拾貳圓
 金拾八圓

(鯉魚七百四十一尾百八十八貫八百匁代)
 鰻十二貫匁

差引金百參拾八圓七錢七厘ノ損失ヲ見タルニ本年ハ融雪期遅レ爲メニ投餌期遅延シタルト右養魚池ハ附近水田灌水用溜池ニシテ本年ハ甚シキ旱魃ニテ池水枯渴ノタメ鯉魚食慾最モ旺盛ナル七、八二ヶ月絶對ニ給餌スルヲ得ザリシトニ原因スルモノナリ

猶右ハ見積金額ニシテ實際ニ於テハ鯉魚ハ親鯉トシテ有償或ハ無償ニテ當業者ニ配付或ハ其他ニ使用シタルニヨリ年度内ニ販賣シタル所ハ左ノ如シ
 一金貳百參拾圓拾五錢
 總 賣 上 高

内譯

金四拾九圓九拾錢
 金九拾九圓貳拾五錢
 金五拾六圓四拾錢
 金貳拾四圓六拾錢

附 年度末現在表

池番號	魚ノ種類	魚ノ大サ	放養數量
第二十號池	鯉	平均体重九匁	六、〇〇〇尾
第二十一號池	鯉	二歳	三〇〇〇尾
		三、四歳	一、七五〇尾

十三、鰻養殖試験

(一) 産卵孵化

親鰻ニハ五月下旬ヨリ鹽藏大羽鰻ヲ投與シ生殖素ノ成熟ヲ計リタルニ六月下旬ニ入りテ交尾シ七月五日ヨリ産卵ス

産卵月日	産卵雌鰻	産卵數	産卵月日	産卵雌鰻	産卵數
七、五	二	二六	七、二二	一	一六
七、六	一	二三	七、二四	一	一五
七、二〇	一	二八	計	六	一〇八

親鰻ハ本年七歳ニシテ卵ハ直径六分、重量一匁三分アリ、産卵ハ普通未明ヨリ午前十時頃ノ管ナルモ當所ハ池側ニ人道及事務所アリ未明ヨリ日没マデ人語足音絶エズ爲ニ毎度午後八時半頃ヨリ産卵場ニ上リ産卵ス而テ産卵時刻ハ午後八時半及

其他電燈ニ集ル昆虫類(自四月十五日至十月三十一日)

(一) 成長度

測定年月日	平均數	體長	體重	摘	要
一三、一〇、二六	二〇〇	二、八七	一、一六	移殖當日測定	體
一四、六、一九	二〇〇	三、七六	三、一四	長ハ吻端ヨリ鼻尖	長
一四、一、二七	五	七、六四	五、四〇		マア

(二) 冬眠

前年ハ十二月二十九日全ク冬眠ニ入りタルガ本年ハ前年ニ比シ早ク十一月下旬水温十度ニ降下スルニ至レバ外面ヨリ見ルヲ得ザリシガ尙十二月月上旬温暖ニシテ水温十度ニ達シタル日中ハ池邊ニ浮上シ見ルヲ得タルモ十二月十一日ヨリ全ク冬眠ニ入レリ

(四) 種蛙配付

縣内飼育希望者ニハ飼育ヲ囑託シ配付スルコト、セリ

配付月日	定數	住	所	氏	先	名
四、一七	五〇	南魚沼郡	東村赤羽	和田	梅	太郎
五、一	五〇	北蒲原郡	笹岡村	農	村	嘉正
五、七	五〇	刈羽郡	中島石村善根	中	村	嘉正
五、一九	五〇	中頸城郡	寺野村	農	村	嘉正
六、一	五〇	中魚沼郡	水澤村伊達	上	村	幸一
六、二	五〇	四頸城郡	名立村田野上	中	野	幸一
六、一六	五〇	南蒲原郡	栗林村須戸	笠	原	榮一
六、二〇	三〇	西蒲原郡	漆山村漆山	菅	原	榮一
六、二三	二〇	北蒲原郡	乙村平木田	堀	政	次郎
六、二五	二〇	西蒲原郡	味方村吉江	菅	川	清六

未明前ノ二回ノ如シ、卵ハ産出セラレタル儘ニテ孵化發生ヲ計リタルニ當時晴天打續キ炎暑嚴シク依テ時々産卵場ニ撒水ヲ試ミタルモ水温上昇甚シク七月五日産卵ノモノハ八月二十日即チ四十五日目ニ二疋解出シ他ノモノモ漸次解出ノ運ビニ至リタルモ孵化成績良好ナラズ後冷氣ニ向ヒ未發生ノ儘腐敗セルモノ多數アリタリ

(一) 鰻兒配付

前記發生セル鰻兒ハ左記ノ通り配付セリ

交付月日	交付數	代	金	住	所	氏	先	名
一〇、二	九	二、七〇〇	三島郡	日吉村島越	中	村	榮	吉

十四、ふるふるく養殖試験

(一) 飼育

前年移殖ノふるふるくハ全年十二月二十九日ニ全ク冬眠ニ入り本年三月十三日冬眠ヨリ覺メ以後飼育ヲ計リ餌料ハ天然餌料參集ヲ計ルタメ四月十五日ヨリ池ノ中央築山ニ電燈五十燭光ヲ點ジ人工餌料トシテ生蠶、生蠶蛹、田螺ヲ投與シテ蠶ノ蠶集及蛆ノ發生ヲ計リ蠶、蜻蛉、蠶螂ヲ捕獲投與セリ餌料種類及概量左ノ如シ

投餌表

餌料種類	投餌量	餌料種類	投餌量
生蠶	七〇尾	田螺	三〇〇合
生蠶蛹	二〇〇合	蠶及蠶螂	五〇〇合

(五) 蛸飼育

蛸飼育ハ農林省農務局副業課及縣農務課ノ幹旋ニヨリ滋賀縣水産試験場ヨリ交付ヲ仰ギ大正十四年十二月十七日到着セリ荷造 運搬器ハ亞鉛製長、巾共一尺一寸五分方形六寸ノ罐箱ニシテ上面中央ヲ直径三寸五分ノ丸形ニ切抜キ口トシ其ノ底部ニ數箇ノ小孔ヲ穿テタル亞鉛板製ノ蓋ヲナシ水ヲ約半分程入レ蛸飼五百疋宛ヲ收容シ藁繩ニテ緊縛荷造セルモノ合計二個一千疋到着セリ

運搬中斃死疋數 五疋

運搬器中水温 攝氏四度

蛸飼ノ大サ 二十疋平均体長吻端ヨリ尾尖迄一寸七分、体重一匁五厘五毛

到着後ノ處置 到着十二月十七日ハ未明ヨリ降霰寒氣嚴シク水温又甚シク低下シ居ルヲ以テ直ニ池ニ放養スルハ危險ト認メ屋内ニ長五尺、巾二尺五寸、深一尺二寸ノ楕圓形大半切ニ飲用水温十度ノ湧水ヲ絶ヘズ注入シ是ニ蛸飼ヲ收容シ天候回復ヲ待チタリ

蛸飼飼育池 池ハ養魚池第三號ヲ改造シ池堤ハ養魚池ト同ジク水深平均一尺五寸、冬越ノタメ中央一坪ヲ更ニ池底ヨリ二

尺堀下グ池ノ周圍水際ハ板圍トシ堤塘缺壞ヲ防ギ周圍ノ堤頂ニハ長六尺ノ杭ヲ三尺置キニ打込ミ地上二尺五寸ノ高サトシ巾三寸五分、厚七分ノ横ヲ杭上部ニ打ツケ内側ニ高サ三尺ノ亞鉛板ヲ地中五寸埋没シテ張リ繞ラシ蛙ノ逸出ト外敵ノ侵入ヲ防ギ池水ノ注排ハ堤下ニ樋ヲ埋設シ之ニ細目ノ金網ヲ挿入シタリ

飼育 前述ノ如ク蝌蚪ハ四日間大半切ニ收容シ天候回復ニヨリ十二月二十一日前記ノ池ニ放養飼育セリ

附記 移殖蝌蚪ノ採卵孵化、移殖ノ蝌蚪ハ滋賀縣水産試驗場ニ於テ大正十四年七月十七日採卵、全月二十日孵化シ孵化後八月二十五日迄叩池ニテ飼育以後ハ泥池ニ放養飼育セルモノナリ

十五、鹹「ウグイ」兒養成試驗

有無ノ計	孵化數	採卵月日	發眼月日	孵化開始	孵化終了	孵化中平均氣温		孵化中平均水温		死亡數	孵化率
						前八時	後三時	前八時	後三時		
有	8,000	五、二七	六、一	六、四	六、六	一八、二	三三、一	一三、八	一五、一	1,000	12.5%
無	10,000	五、二七	六、一	六、四	六、六	一八、二	三三、一	一三、八	一五、一	1,100	11.0%

(三) 魚兒養成

孵化セル鹹兒六千尾ヲ約五坪ノせめんと叩池ニ飼育シ孵化後四日目ヨリ六千尾ニ對シ七日間中ニ鶏卵卵黃三十五個ヲ毎日三回ニ分チテ投與シ以後ハ大麥粉、蠶蛹粉ノ混合餌料及時々生鱸ノ養熟セルモノヲ投與セリ其成長度左ノ如シ

測定月日	體長	體高	測定月日	體長	體高	體重
六、六	0.4	—	七、一〇	0.7	0.2	0.10
六、一〇	0.15	0.01	七、一〇	0.6	0.1	0.10
六、一〇	0.15	0.01	七、一〇	0.6	0.1	0.10
六、一〇	0.15	0.01	七、一〇	0.6	0.1	0.10
六、一〇	0.15	0.01	七、一〇	0.6	0.1	0.10

月間飼兒養成所ハ七月三十一日限り閉鎖スル必要上魚兒ハ七

(一) 採卵 親魚ハ信濃川支流五十嵐川流域南蒲原郡長澤村大字高岡地先ニ於テ捕獲セリ

採卵月日	親魚尾數	卵粒數	着卵材料全上枚數	採	要
五、二七	二六三〇	五六一〇、〇〇〇	二五	親魚ハ大小不同	

(二) 孵化

前年試驗ノ結果孵化ハ室内池ニ於テスル方室外池ニ於テスルヨリ優レルヲ以テ本年ハ室内池ニ於テシ孵化池ノ水ヲ常ニ交流セシメタル場合ト交流セシメザル場合トニ別チテ卵子ノ發達成績ヲ比較研究セリ其結果ハ流通水アリタル孵化池ノモノハ七十五%孵化シ健全ニ成育セルモ流通水ナキ孵化池ノモノハ四十%孵化シタルモ臍囊消失期迄ニ全部斃死セリ

月三十日全部五十嵐川ニ放流セリ
其際殘留尾數ヲ檢セシニ五千五百五十尾アリタリ

十六、溜池利用試驗

試驗溜池ハ三島郡大津村大字横原竹ノ河内溜面積二千五十一歩ヲ以テシ之ヲ横原部落青年會ニ於テ經營シタルモノナリ、大正十四年五月十三日鯉魚二歳二十尾平均体長三寸四厘、体高七分八厘、体重二匁九分三厘ノモノ千二百五十六尾放養シ餌料ハ五月下旬ヨリ九月下旬マデ乾燥蠶蛹五十貫ヲ投與シ全年十一月三日池替シタルニ鯉魚十尾平均体長七寸一分三厘体高一寸九分、体重五十二匁六分ノモノ九百四十三尾、四十九貫六百匁ヲ得タリ

収支計算

一金七拾八圓四拾壹錢	總支出高
内譯	
金八圓七拾貳錢	設備費(排水門圍ヒ等)
金六拾五錢	備品費(餌料用バケツ一ケ)
金參拾圓	餌料費(乾燥蠶蛹五十貫)
金貳拾八圓七拾九錢	種苗費(鯉三寸大千二百五十尾、六尾千尾貳拾參圓替)
金拾圓	人夫費(投餌及漁獲手間)
金貳拾五錢	運搬費
金百四拾九圓八拾錢	収入高
鯉魚二歳二千九百四十三尾四十九貫六百匁、一貫匁參圓替	
ニテ賣却シタリトセル見積高	
右表ニヨリ差引金七拾壹圓參拾九錢ノ利益ヲ得ルコト、ナル	

可シ而テ右養魚池ハ水田灌用水溜ナルニ本年ハ甚シキ旱魃ニテ池水枯渴ノタメ鯉ノ食慾最モ盛ナル七、八兩月絶對ニ給餌スルヲ得ザリシヲ以テ成長ハ充分ナラザリシナリ故ニ平年ナレバ其成績更ニ良好ナリシナル可シ又本試驗ニ於テ捕揚セル鯉魚ヲ販賣セザルハ來年度更ニ成長セシメンガ爲ナリ

十七、海洋調査

(一) 寺泊、赤泊間海洋觀測

水産講習所海洋調査部ト聯絡シ四、五、六、七、八、九、十ノ七ヶ月毎月初メ寺泊、赤泊間毎五哩五ヶ所ニ於テ觀測ス

(二) 彈埼北西海洋觀測

水産講習所海洋調査部ト聯絡シ四、五、六、七、八、九ノ六ヶ月毎月初メ彈埼ヨリ北西へ每十哩六ヶ所ニ於テ觀測ス
附記 十月以後ハ試驗船ノ都合ニテ欠測ス

(三) 海流壇放流 (第十回)

イ、放流時
大正十四年七月三十一日全八月一日
ロ、放流位置並數
寺泊、赤泊間毎五哩三點各十本宛、佐渡姫崎、彈埼間二點各五本宛、彈埼ヨリ北西毎五哩十點各十本宛合計百四十本
ハ、拾得數
三月末迄ノ拾得報告數ハ六十九本ニシテ放流總數ノ約五割ニ當ル

二、流 向

本回ノモノハ最モ北ニ遠ク且ツ多ク流着セリ、北海道西岸ニ沿ヒテ北上セルモノ過半ヲ占メ津輕海峡ヲ通過シタルモノナク海峡ニ向ヒタルモノハ青森縣尻矢崎附近及北海道膽振沿岸ニ四本アリシノミ、北海道西岸ヲ北上セルモノハ樺太西岸ヘ二本、宗谷海峡ヲ通過シテ北海道斜里郡一本、網走ヘ一本、千島國後島東岸ヘ一本流着セリ

ホ、流 速

流速ハ不確實ヲ免レザルモ拾得日時ト推定流程トヨリ計算シテ最大ハ一日十八哩、最少一日二哩トナル、平均ハ一日八哩(拾得報告總數六十九本ノ前半ノ平均ハ十二哩トナル)ニシテ昨年八月放流ノモノ、平均速力五哩ニ比シ一日三哩速シ

十八、漁況調査

(一) 大 羽 鱈

本年度大羽鱈漁網ハ昨年ニ比シ一週間乃至十日遅ク初漁ヲ見タリ、前年ニ比シ漁獲ニ大差ナク五月中旬ニ於テ稍活況ヲ呈シタルモ其後ハ甚シキ不漁ニ陥リ五月下旬ヨリ六月中旬ニ亘リ縣下ノ終漁ヲ告ゲタリ
初期 四月中旬、下旬
四月十五日刈羽郡石地町ヨリ一隻出漁セルヲ本年ノ初漁トスルモ漁獲ハ七十尾、翌十六日佐渡郡二見村稻嶺ニテ二隻二、三十尾ノ初漁、中頸城郡米山村ニ於テ五百尾、三島郡寺泊町ニ於テ一隻數尾、十七日中頸城郡柿崎村七隻初出漁セルモ皆無刈羽郡荒濱村六隻三百乃至千尾ノ初漁、佐渡郡澤根、姫津ニ

於テ二百乃至八千尾、十八日刈羽郡中濱ニ於テ最高一萬尾ノ漁獲ヲ示セル外各地共最高七、八千尾、最低百尾内外ノ漁獲状態ヲ繼續シ尙見ルベキ漁獲ナク四月ヲ終レリ
盛期 五月上旬、中旬
五月ニ入り岩船方面ハ漁獲抄々シカラズ西頸城郡浦本村ニテ二日三萬八千乃至一萬二千尾、佐渡郡小木町ニ於テ五月一日三萬八千乃至一萬三千ノ漁アリ他ハ四月下旬ノ狀況ヲ續ケタルモ俄然三島郡寺泊町ニ於テ五月六日最高二萬尾、最低一萬五千尾ノ漁獲アリ七日最高五萬、最低三萬尾ノ大漁アリ西頸城郡浦本村、刈羽郡石地、中頸城郡柿崎、西蒲原郡五十嵐濱越前濱、角田濱、佐渡郡稻嶺、兩津、小木亦二萬乃至五萬ノ大漁ニシテ大ニ活況ヲ呈セリ岩船方面ハ一萬乃至一萬五千尾ニシテヤ、薄漁ナリ、中旬ニ移リテ刈羽郡中濱ニテ最高九萬最低三萬五千ノ飛抜ケ漁獲アリシモ他ハ上旬ニ比シ稍ヤ薄漁ニ向ヒ佐渡郡ニテハ各地共一、二千尾ニ降レリ概シテ上、中越、西、中頸城、刈羽、三島郡ニ豐漁ヲ見タリ
終期 五月下旬、六月上、中旬
五月下旬ニ於テハ刈羽、中頸城郡ニテ一萬乃至三萬尾漁ヲ維持セルモ西頸城郡ニテ八、九千尾、西蒲原郡ニテ五千乃至一萬五千尾、岩船郡ニ於テハ多キハ二萬尾少キハ千尾内外、佐渡郡ニテ千尾乃至六千尾ニ過ギズ、二十七日ヨリ三十日ニ亘リ切揚六月上旬ニハ西頸城、中頸城、刈羽、西蒲原、岩船ヲ通シ千尾乃至二萬尾漁アリシモ多クハ二、三千尾漁ニシテ上旬末、中旬初切揚中頸城郡柿崎ノミ六月十四日切揚ヲナシタルヲ最後トス

大正十四年大羽鱈漁況表

地方名	出漁船數	初漁月日	終漁月日	最高	最低	平均	平均魚值	例年トノ 豊凶比較
西頸城郡浦本村	六	四・一	六・一	三三,000尾	一,000尾	八,000尾	八毛	豐
刈羽郡石地	六	四・一	六・一	一三,000尾	一,000尾	四,000尾	二毛	豐
三島郡寺泊町	一	五・一	五・一	一,000尾	一,000尾	一,000尾	二毛	豐
全 出雲時	四	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
西蒲原郡五十嵐濱	三	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
佐渡郡相川町	二	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
全 稻嶺	二	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
全 兩津	二	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
岩船郡下海府	四	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
刈羽郡荒濱村	一	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
全 中濱	一	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐
全 下宿	一	四・一	五・一	一〇,000尾	一,000尾	三,000尾	五毛	豐

(二) 鯖

前年ニ比シ稍好漁ヲ示セリ
初漁ハ五月四日西頸城郡浦本村四隻ノ出漁アリ最高千五百尾、最低九百尾ニシテ同郡田伏ニテ五月五日四隻最高千七百尾、最低七百五十尾、五月十日西蒲原郡越前濱、五十嵐濱等出漁

大正十四年鯖漁況表

地方名	旬 別	出漁船數	全上種類	最高	最低	平均	價 格
西頸城郡浦本村	全 五月上旬	四	延	一,000尾	一,000尾	一,000尾	二五錢
全 五月中旬	全	四	全	一,000尾	一,000尾	一,000尾	二五錢
全 五月下旬	全	四	全	一,000尾	一,000尾	一,000尾	二五錢

平均五百尾ノ漁獲アリ、五月十六日北蒲原郡笹口濱ニ於テハ車網ニ二千五百尾、三島郡寺泊町五月二十八日初漁三百尾、平均岩船郡ニテハ網延繩ニ五十尾内外ノ漁獲アリ、佐渡郡ニ於テハ五月六日稻嶺ニテ一隻三百尾、兩津、姫津ニ於テ延繩ニ二三尾宛ノ漁獲ヲ見タリ、六月下旬乃至七月下旬ニ亘リ各地共切揚ヲナセリ

十九、職

本場詰

北辰丸乗組

全	全	全	全	全	全	全	全	全	佐
相				兩				稻	波
川				津				鯨	津
六	五	全	六	六	五	六	全	五	六
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
中	下	下	中	上	下	上	下	上	中
旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬
三	六	六	八	一	一	一	一	一	一
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四	九	五	九	一	二	二	六	四	四
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

員

技師 新宅定一
 技師 阿部圭
 技師 日比谷爲造
 技師 友廣年
 技師 深瀧勘治
 技師 高島時太郎
 技師 前田忠作
 技師 梅澤鐵次郎
 技師 梅澤要藏
 技師 梅澤武七
 技師 仙波平馬
 技師 中地源藏
 技師 菊地彌藏
 技師 石井友吉

彌彦丸乗組

常備 村山與物松
 常備 中田政義
 常備 小林源吾
 常備 荻部浪次郎
 常備 土屋五郎七
 常備 遠藤末吉
 常備 山上要吉
 常備 石塚由太郎
 常備 吉岡寅松
 常備 高橋重三郎
 常備 小島末吉
 常備 寺澤與五六
 常備 指田晋次郎
 常備 相馬鷹藏
 常備 中川國三郎
 常備 石塚多七

三二

二十、嘱託員

朝鮮、新浦	松田利市
佐渡内海府村	渡邊熊藏
金泉村	松見泰藏
佐渡大小大倉田切須漁業組合	
寺泊	蓮沼德治
中頸城	麻場治孝
北魚沼	下村常吉
中魚沼	上村幸一郎
全	郡農會
南魚沼	井上菊雄
北蒲原	森谷啓吉
養	
西頸城郡名立村	中野胤員
東頸城郡保倉村	秋山辰五郎
中頸城郡寺野村	太田耕治
中魚沼郡水澤村	上村幸一郎
中魚沼郡外九村	小野塚喜逸
南魚沼郡東村	和田梅太郎
刈羽郡中鱈石村	中村嘉正
古志郡上北谷村	箕輪松藏
古志郡東谷村	五十嵐貞司
西蒲原郡漆山村	笠原六
西蒲原郡味方村	皆川清六

納谷孫六	常備	淡水養殖場詰
近藤音藏	常備	三面川鮭孵化場詰
立林豐藏	常備	阿賀川鮭孵化場詰
石原清作	常備	信濃川鮭孵化場詰
加藤又三郎	常備	月岡鯉兒養成所詰
小野太亮	技手	中頸城囑託鯉兒養成所詰
久保章士	小使	北魚沼 全
佐野松太郎	技手	中魚沼 全
利根川壽一	常備	南魚沼 全
高橋清次	常備	北蒲原 全
山際與物市	常備	
五十嵐留五郎	常備	
難波重藏	常備	
渡邊岩吉	常備	
西村末藏	常備	
中林雅太郎	常備	
星野子之吉	常備	
山田源次	常備	
麻場治孝	常備	
下村常吉	常備	
高橋治助	常備	
井上菊雄	常備	
渡邊平次郎	常備	

佐藤榮一	農會	岩船郡神納村七湊
川上文吉	農會	北蒲原郡笹岡村
堀政次郎	農會	北蒲原郡乙村
寺澤修次	農會	岩船郡神納村七湊
倉又清隆	農會	西頸城郡浦本村
瀧澤清治	農會	中頸城郡柿崎村
赤澤源四郎	農會	刈羽郡大洲村
品田喜三治	農會	刈羽郡荒濱村
清水長松	農會	刈羽郡柏崎町
小川彌三次	農會	西蒲原郡角田村
古俣岩人	農會	西蒲原郡内野村
間野彌平次	農會	北蒲原郡築地村
長七右衛門	農會	岩船郡上海府村
渡邊巳之六	農會	岩船郡下海府村
中村佐次平	農會	佐渡郡兩津町
大地東太郎	農會	佐渡郡二見村
刀根惣八	農會	佐渡郡相川町
河野卯七	農會	佐渡郡小木町

廿一、歳出決算

總額	七萬九千貳百九拾八圓五拾六錢
技術員給	壹萬貳千參百五拾參圓拾九錢
主事補給	壹千貳百八拾四圓也

書記	給	貳拾五圓也
小使	給	壹千七百四拾貳圓五拾錢
給仕	給	六百貳拾四圓也
諸人手當	給	壹百六拾八圓也
旅費	給	壹萬貳千五百拾七圓五拾七錢
備用品費	給	四千八百貳拾壹圓四拾四錢
消耗品費	給	四千七百七拾八圓八拾貳錢
文具費	給	壹萬八千圓七拾八錢
通信運搬費	給	壹萬壹千六百四拾參圓五拾七錢
圖書費	給	壹千九百九拾四圓七拾九錢
印刷費	給	六圓也
被服費	給	壹千參圓九拾參錢
賄費	給	壹百壹圓五拾八錢
雜料費	給	五百拾五圓也
原料費	給	貳百拾七圓九拾八錢
餌料費	給	壹百參拾壹圓四拾錢
賞與費	給	壹千六百六拾六圓五拾九錢
常時修繕費	給	壹千壹百貳拾九圓五拾參錢
指定修繕費	給	壹千貳百四拾八圓五拾參錢
雜考	給	壹千貳百六圓也
備	給	參百八拾參圓參拾四錢
收入	給	壹千百參拾五圓貳錢
合計	給	四千七百六拾八圓拾七錢

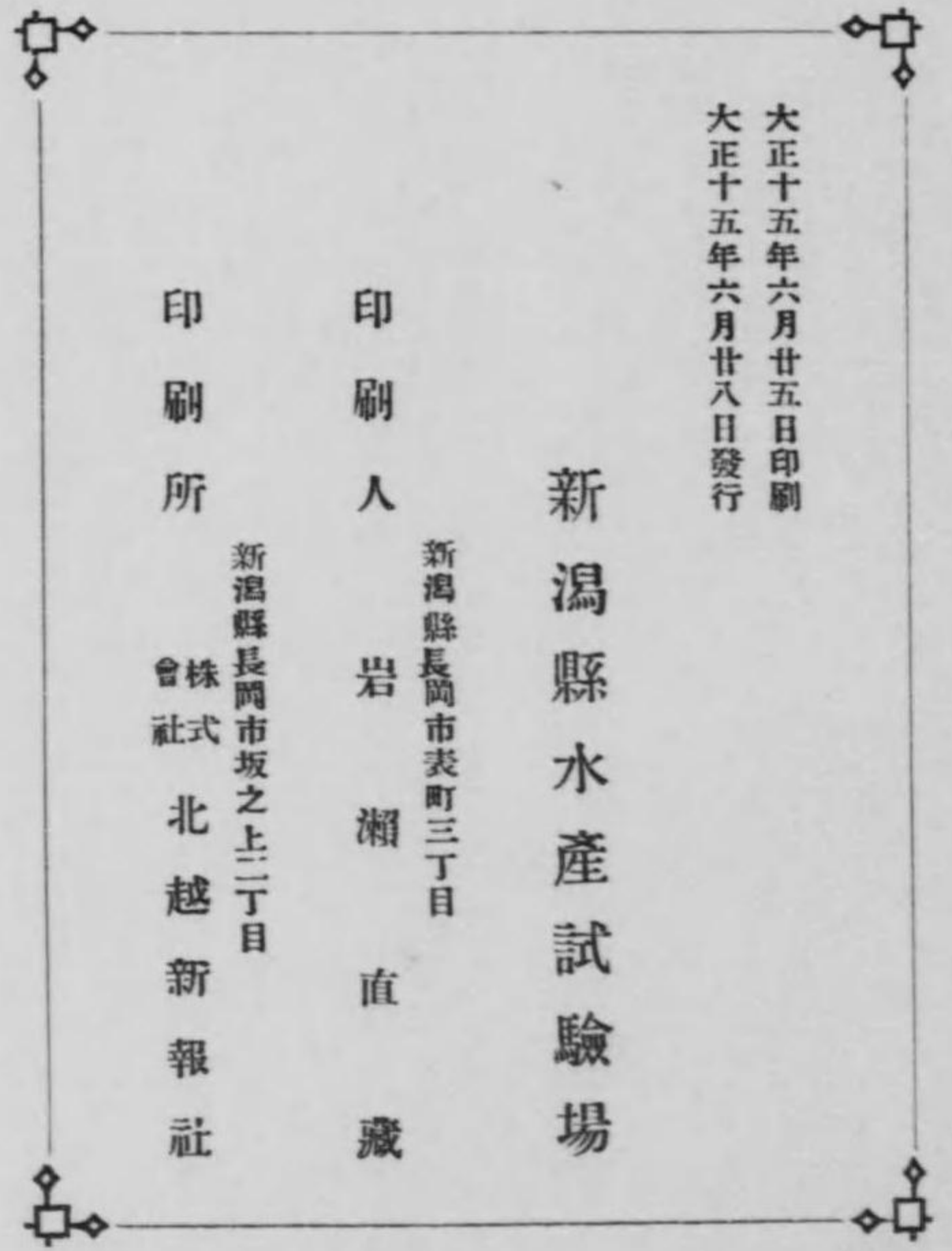
1421
20

新潟縣水產試驗場
大正十五年六月廿五日印刷
大正十五年六月廿八日發行

新潟縣水產試驗場

印刷人 岩 潮 直 藏

印刷所 株式會社 北越新報社



終